

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	保育所整備事業	事業番号	10872

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-4	児童保育の充実
	施策目標	多様化する保育ニーズに応え保育環境の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	経年劣化に伴う保育施設の維持改修による施設整備を実施し、安全性の向上と保育環境の充実を図る。
成果	保育環境の充実 施設の延命化
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	老朽化のため破損していたはぼまい保育所の所庭フェンスについて、倒壊防止のため取替工事を実施						
	28							
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		3,759					3,759
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	3,700					3,700
		一般財源	59					59
	人員(人工)		0.08					
職員費(人員×8,081千円)		646					646	
総事業費		4,405					4,405	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
	合計/年							

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	改修施設数	1施設	随時対応	随時対応

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	保育施設の安全性の向上 保育環境の充実
-------------------	------------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 築年数の経過とともに施設の老朽化が進んでいるため、状況に応じた改修は必要である。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 直営施設のため、市以外の実施が不可能である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 施設の安全性を確保するため、老朽化や破損の状況に応じ施設整備が必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 施設整備の事由が発生した場合、適宜に対応している。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 老朽化が著しい、早急に対応しなければ保育中の危険性が認められる場合等、状況に応じて実施している。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 入所児童に対し安心・安全な保育の提供ができるとともに、施設の延命化を図ることにより、児童の受入を継続できる。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 児童の安心・安全な居場所として、今後も定期的な点検など施設の安全性の確保に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 安全な保育環境維持のため、随時対応しながら適切な施設管理を行うこととしたい。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	特定教育・保育施設運営経費(延長保育) (旧:特別保育推進事業)	事業番号	79 (12362)

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-4	児童保育の充実
	施策目標	多様化する保育ニーズに応え保育環境の充実したまち	

2 事務事業の目的

目的	保護者の就労形態の多様化に対応するため、民間保育園が実施する延長保育に対し支援措置を講じ、就労と子育ての両立を支援する。
成果	子育て支援体制の充実
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	民間保育園(しらかば保育園)が実施する延長保育に対し、補助金を交付し支援体制の充実を図る。						
	28	同上						
	29	同上						
	30	同上						
	31	同上						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,342	1,342	1,342	1,342	1,342	6,710
	内訳	国庫支出金	447	447	447	447	447	2,235
		道支出金	447	447	447	447	447	2,235
		地方債						
		その他						
		一般財源	448	448	448	448	448	2,240
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870	
総事業費		2,716	2,716	2,716	2,716	2,716	13,580	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	延長保育実施施設数	1施設	4施設	7施設
	延長保育利用人数	894人	3,560人	4,650人
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	事業継続の安定化 保育サービスの充実
-------------------	-----------------------

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 利用については、市内の産業の状況により変動するものと推測される。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 国の補助制度を運用するため、自治体以外の実施が不可能である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 保護者の就労支援と子育て環境の整備のため、事業継続が必要である。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 希望する保護者に対し、保育が提供できている。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 常設保育所における実施については、財源措置による勤務体制の整備や希望人数の調整等を要する。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 保護者が安心して就労することができ、子育てとの両立の支援の面からも有効性は高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、引き続き民間保育園と連携してニーズの把握やサービスの充実に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 引き続き民間保育園と連携し、事業を継続としたい。また、常設保育所における実施については、財源確保の問題や市内の雇用状況等を注視しながら、検討していくこととしたい。

作成年度 平成27年度